

令和3年度 鹿島市社会教育方針

鹿島市教育委員会

I 基本方針

学び、楽しみ、交流する生涯学習のまちづくりのために、学校教育や社会教育あるいはスポーツ・文化・ボランティア活動などを通じて、市民がお互いに学び合い助け合いながら、生涯にわたり学習していく社会づくりが重要となる。

多様化する現代社会の中、市民が必要な知識、楽しみや生きがいを見出せるように、社会教育の推進と文化・スポーツの振興を図り、誰もが学べる環境づくりを目指す。

II 重点目標

社会情勢の著しい変化に伴い、生涯学習に対する市民の考えやニーズは多様化しており、これらに対応した生涯学習活動を実現するため、市民の誰もが、“いつでも”“どこでも”“何でも”学べる環境の整備と機会の提供が重要となっている。

そこで、地域コミュニティとの連携による人材の育成、世代間交流を通じた“地域の絆づくり”を推進する。

また、学校教育や社会教育の場を活用した人権に関する普及・啓発活動や地域の伝統文化、伝統行事の継承事業及び誰でも気軽にスポーツができる環境づくりを推進する。

III 施策

(1) 社会教育の推進

- ①生涯学習センター・市民図書館を、学び・交流・情報の拠点とした、市民が主役の生涯学習の展開
- ②年代を問わず市民の多彩なニーズに基づく様々な学びの機会を提供
- ③社会教育関係団体との連携の強化、活動の支援、団体育成
- ④ふるさとの豊かな自然や地域資源などを活かした体験活動の充実
- ⑤学校、家庭、地域が連携・協働した教育活動の推進
- ⑥公民館の社会教育施設としての機能強化と、地域づくりの拠点としての活動強化
- ⑦社会教育施設の適正な維持・管理
- ⑧図書館の利用促進、特に新規利用者の獲得・開拓に向けた事業展開
- ⑨人権・同和問題に関する教育・啓発活動の推進
 - ・学校、地域社会、企業・事業所における人権・同和問題教育、啓発の推進
 - ・同和問題をはじめとする多様化した人権問題に関する啓発活動の充実

(2) 文化の振興

- ①社会教育や学校教育の場で、郷土の歴史や文化の再発見や再認識に向けた取り組み
- ②地域の文化財の調査による、総合的な把握と必要に応じた指定
- ③指定文化財などの、歴史的・文化的資産の適切な維持管理
- ④地域の民俗芸能や祭礼行事、伝統工芸などの保存継承活動の支援
- ⑤郷土資料の収集・保存し、ふるさと学習に向けた展示などの利活用の推進
- ⑥文化芸術に関する講演会、展示会、講座の開催と、市民の活動発表の場の提供
- ⑦新市民会館の整備による生涯学習センター（エイブル）と連動した市民文化交流の場の提供

(3) スポーツの振興

- ①総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ・鹿島」の育成、支援
- ②スポーツ施設の適正な維持・管理
- ③スポーツイベントの誘致およびスポーツ合宿の推進
- ④国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功と実施競技の普及
- ⑤スポーツ施策の総合的指針となるスポーツ推進計画（仮称）の策定